

3 すべての人が使いやすい施設

入所者の「家」となる平面計画

課題（１）入所者の生活の場としての施設 （２）生活支援と養護を安心して受けられる施設

入所者が思い通りに過ごせる居場所をつくる

A

プライバシーを確保した居室

B

顔なじみと過ごす談話コーナー

C

みんなで一緒に憩う食堂

居室・談話コーナー・食堂と自由に過ごせる場所を段階的に設けることで「家」のように生活することができます。

A 居室



B 談話コーナー



C 食堂



スタッフが働きやすい平面計画

昼間・夜間ともに効率よく見守りが出来る計画

昼間

30人 30人
ステーションから2つのグループごとに見守り

夜間

60人
介護職員室から全体を見守り

介護職員室

ステーション

スタッフ居室



支援業務の動線を短縮する一ヶ所集約配置

支援業務諸室の集約配置

介護材料 汚物倉庫 洗濯室 機械室 休憩室 浴室 脱衣室 医務室 静養室 介護職員室

一ヶ所集約配置

介護職員室・静養室、浴室・洗濯室・汚物倉庫は廊下を介さず行き来でき、支援動線を短縮します。

ニュークックチル方式を効率よく行える調理室

入出荷プラットフォーム

① 非汚染区域と汚染区域の明確なエリア分け。

② ニュークックチル方式に必要なチルド庫を配置。

③ 上松荘などへ配送するため食缶のパススルーを設置。

① 非汚染区域

② 汚染区域